

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・・購入時の取得価格によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していません。)

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・職員の退職給付にそなえるため、当期末における退職給付債務(期末自己都合要支給額)に基づき、当期発生していると認められる金額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	84,546,192	0	0	84,546,192
普通預金	1,453,808	0	0	1,453,808
小 計	86,000,000	0	0	86,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	16,290,575	3,614,698	0	19,905,273
安成弘記念事業積立資産	356,902	0	356,902	0
人材育成事業(重粒子線)積立資産	29,307,606	303	5,000,000	24,307,909
国際シンポジウムI S I T積立資産	0	3,096,006	0	3,096,006
小 計	45,955,083	6,711,007	5,356,902	47,309,188
合 計	131,955,083	6,711,007	5,356,902	133,309,188

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	84,546,192	(0)	(84,546,192)	(0)
普通預金	1,453,808	(0)	(1,453,808)	(0)
小 計	86,000,000	(0)	(86,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	19,905,273	(0)	(0)	(19,905,273)
安成弘記念事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
人材育成事業(重粒子線)積立資産	24,307,909	(24,307,909)	(0)	(0)
国際シンポジウムI S I T積立資産	3,096,006	(3,096,006)	(0)	(0)
小 計	47,309,188	(27,403,915)	(0)	(19,905,273)
合 計	133,309,188	27,403,915	86,000,000	19,905,273

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	27,053,327	14,104,922	12,948,405

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	時価	評価損益
国 債	84,546,192	94,695,416	10,149,224
合 計	84,546,192	94,695,416	10,149,224

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
人材育成事業（重粒子線）に充当	5,000,000
人材育成事業（安記念事業）に充当	356,902
計画推進事業（国際シンポジウム I S I T）に充当	4,000
合 計	5,360,902